

東北地方 1 か月予報

(1 月 2 8 日から 2 月 2 7 日までの天候見通し)

平成 2 4 年 1 月 2 7 日
仙台管区气象台発表

< 特に注意を要する事項 >

1 週目は気温がかなり低くなる見込みで、気温の低い状態は少なくとも 2 週間は続くでしょう。

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

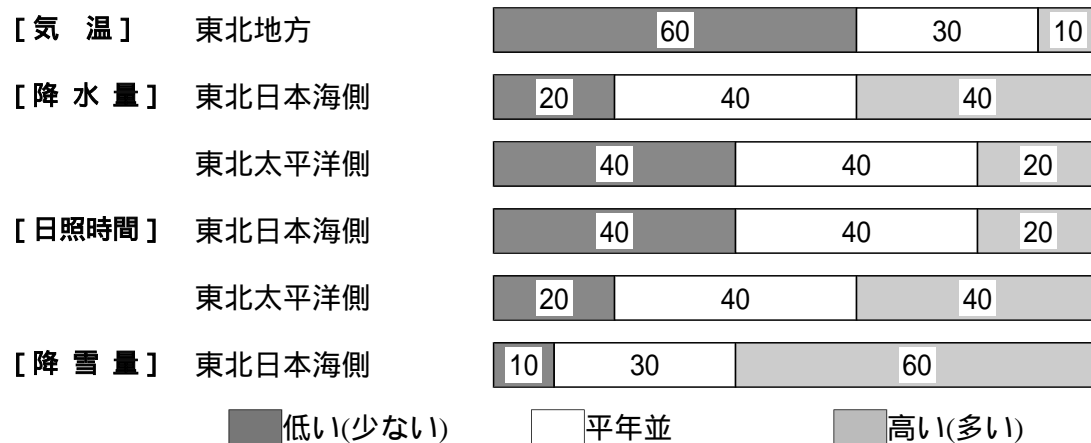
向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、平年に比べ曇りや雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

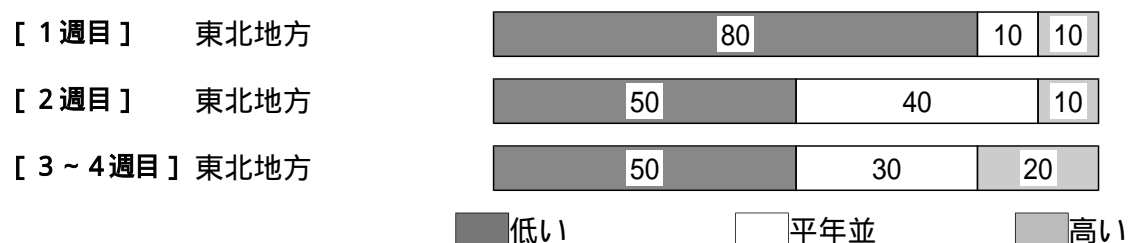
向こう 1 か月の平均気温は、低い確率 6 0 % です。降水量は、東北日本海側で平年並または多い確率ともに 4 0 %、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに 4 0 % です。日照時間は、東北日本海側で平年並または少ない確率ともに 4 0 %、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに 4 0 % です。東北日本海側の降雪量は、多い確率 6 0 % です。

週別の気温は、1 週目は、低い確率 8 0 % です。2 週目は、低い確率 5 0 % です。3 ~ 4 週目は、低い確率 5 0 % です。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 1月28日(土) ~ 2月27日(月)
1 週目 : 1月28日(土) ~ 2月 3日(金)
2 週目 : 2月 4日(土) ~ 2月10日(金)
3 ~ 4 週目 : 2月11日(土) ~ 2月24日(金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は2月3日
3 か月予報：2月23日(木) 14時
暖候期予報：2月23日(木) 14時

< 参考資料（ 平年並の範囲等 ） >

（ １ ） 30 年平均値（ 向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温 ）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温()		
					1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	-0.9	125.0	74.0	203	-1.6	-1.2	-0.6
深浦	-0.1	84.9	47.8	105	-0.7	-0.4	0.2
むつ	-1.3	92.3	96.9	167	-1.9	-1.6	-1.0
八戸	-0.7	43.5	142.9	91	-1.4	-1.1	-0.3
秋田	0.4	98.4	64.6	123	-0.3	0.1	0.7
盛岡	-1.4	54.3	139.0	88	-2.2	-1.8	-1.0
大船渡	1.0	50.1	151.1	31	0.4	0.7	1.2
宮古	0.4	66.5	168.8	61	-0.2	0.0	0.6
仙台	1.9	42.6	166.1	31	1.3	1.6	2.2
石巻	1.1	39.2	180.3	31	0.4	0.8	1.5
山形	0.0	70.7	105.9	138	-0.7	-0.3	0.3
新庄	-0.8	160.2	60.2	249	-1.5	-1.1	-0.5
酒田	1.8	128.6	60.9	111	1.2	1.5	2.0
福島	2.1	49.4	156.0	71	1.3	1.7	2.4
若松	-0.2	79.6	104.8	160	-0.9	-0.6	0.1
白河	0.7	43.1	168.0	49	0.0	0.3	1.0
小名浜	3.9	63.0	196.6	-	3.4	3.6	4.2

小名浜の降雪量の平年値はありません。なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（ ２ ） 1981 ～ 2010 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（ 比 ）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.2 ～ +0.4	80 ～ 109	94 ～ 103	86 ～ 113
東北日本海側	-0.2 ～ +0.4	87 ～ 108	89 ～ 107	90 ～ 116
東北太平洋側	-0.2 ～ +0.4	66 ～ 117	98 ～ 105	79 ～ 110

（ ３ ） この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.6 ～ +0.7	-0.4 ～ +0.8	-0.4 ～ +0.6
東北日本海側	-0.6 ～ +0.6	-0.4 ～ +0.8	-0.5 ～ +0.6
東北太平洋側	-0.6 ～ +0.7	-0.5 ～ +0.8	-0.4 ～ +0.6

< 参考資料（ 利用上の注意 ） >

（ １ ） 気温（ 降水量 ）等は、「低い（ 少ない ）」「平年並」「高い（ 多い ）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1981 ～ 2010 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（ それぞれ 33 % ）となるように決めてあります（ 気候的出現率と呼びます ）。

（ ２ ） 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10 % 以下や 60 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（ 30 %、40 % ）の確率しか付けられません。

（ ３ ） 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（ 少ない ）場合は「平年に比べて多い（ 少ない ）」、また平年の日数と同程度に多い（ 少ない ）場合には「平年と同様に多い（ 少ない ）」と表現します。なお、単に多い（ 少ない ）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（ 少ない ）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成24年1月27日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月（1月28日～2月27日）：

冬型の気圧配置となり、東北日本海側では平年に比べ曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が多いでしょう。1週目は気温がかなり低くなる見込みで、気温の低い状態は少なくとも2週間は続くでしょう。

向こう1か月の平均気温は、低い確率60%です。降水量は、東北日本海側で平年並または多い確率ともに40%、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、東北日本海側で平年並または少ない確率ともに40%、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。東北日本海側の降雪量は、多い確率60%です。

1週目（1月28日～2月3日）：

冬型の気圧配置が続く、曇りで東北日本海側を中心に雪の降る日が多いですが、東北太平洋側の沿岸部では晴れるところがあるでしょう。なお、期間を通して東北日本海側を中心に断続的に雪が降り、荒れた天気となる日がある見込みです。

気温は、低い確率80%です。

2週目（2月4日～2月10日）：

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年に比べ曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

気温は、低い確率50%です。

3～4週目（2月11日～2月24日）：

冬型の気圧配置となり、寒気の影響を受けるでしょう。東北日本海側では平年に比べ曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

気温は、低い確率50%です。

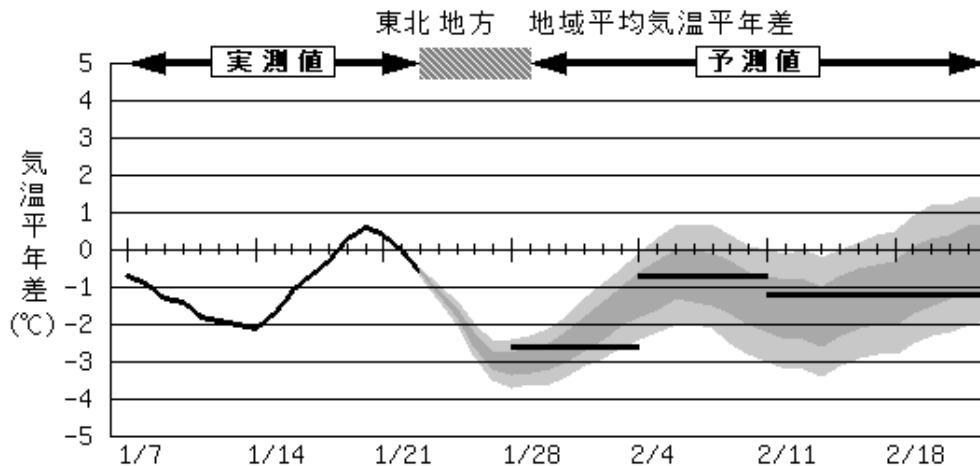
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数（日）

青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
5.3	19.2	4.4	17.1	15.2	8.3	19.0	4.7	10.2	12.6	17.5	6.8

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目は平年を大きく下回り、2週目、3～4週目は平年を下回る予想となっている。

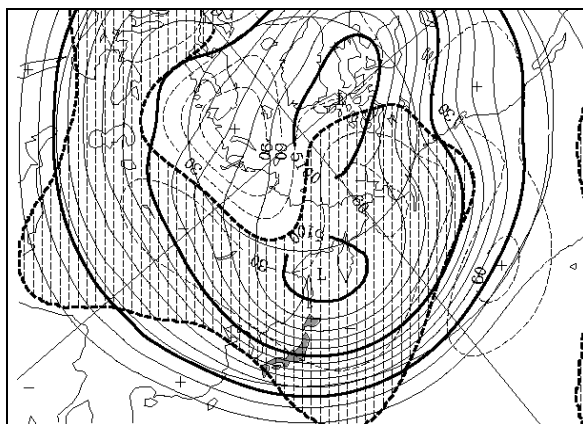


- ・ グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- ・ 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅（濃い陰影の範囲）と、信頼の程度が70%の幅（濃い陰影と薄い陰影の範囲）を表示。
- ・ 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。
- ・ ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 偏西風の蛇行が明瞭で、日本付近では偏西風が南に蛇行する。また、オホーツク海付近に寒冷渦が見られ、日本付近から日本の東にかけて負偏差におおわれ、東北地方は低温が続くことが予想される。東北日本海側では降雪量が多くなる見込み。

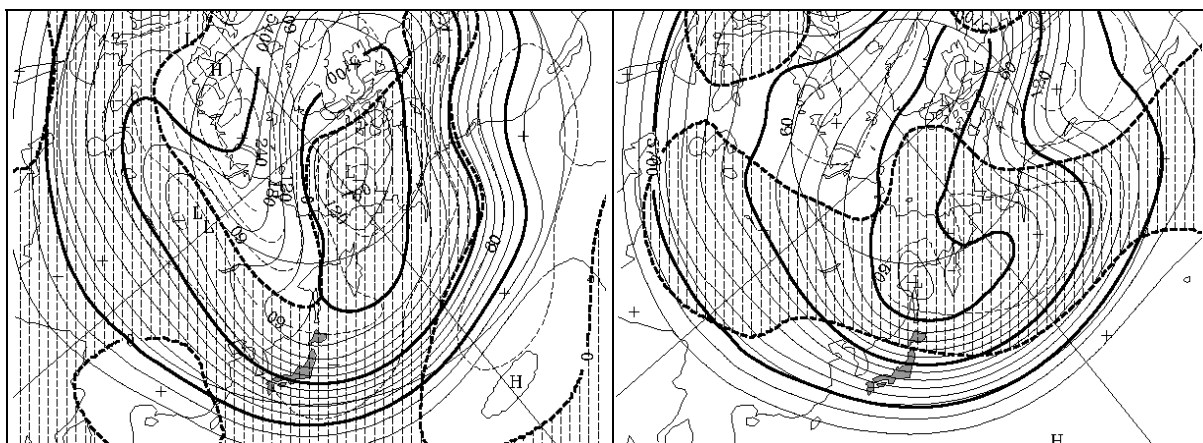
1週目: 中央シベリアから東シベリアにかけては気圧の尾根があり、その南の中国東北区から日本付近にかけて深い気圧の谷となり、顕著な負偏差におおわれる。日本付近は強い冬型の気圧配置となるため、東北地方はかなりの低温が予想される。



1か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は1, 2週目と同じ。ただし偏差の間隔は30m。

2週目: 日本の北では気圧の谷が深まり、日本の南は気圧の尾根となる。東北地方は冬型の気圧配置が続き、低温が予想される。



1週目平均 500hPa 予想天気図

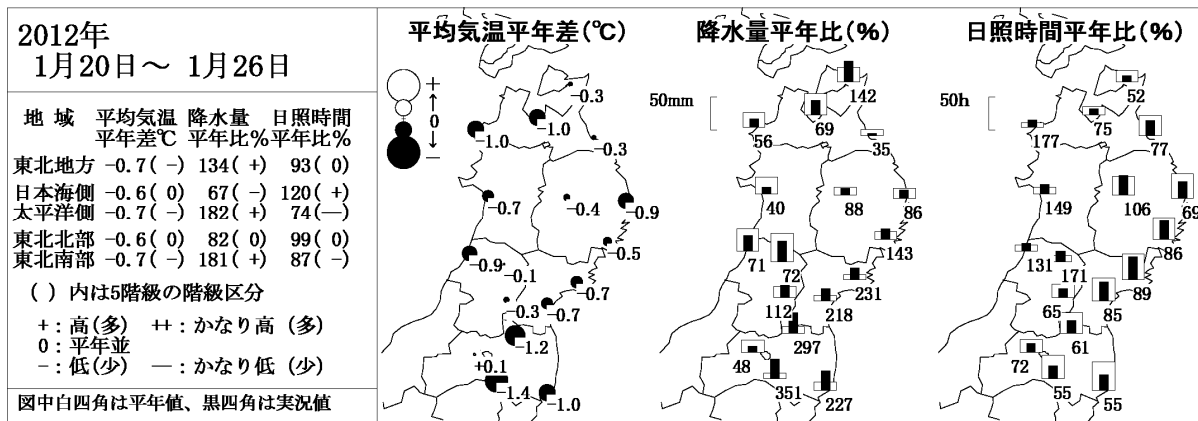
2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高度線（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 60m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近1週間（1月20日～1月26日）の天候の経過

期間のはじめに低気圧が通過し、その後冬型の気圧配置となった。東北日本海側では、曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では、期間のはじめは低気圧の影響で雪や雨となったが、その後は晴れの日が多かった。24日から26日にかけては強い冬型の気圧配置となり、寒気が流れ込んだため、東北地方ではかなりの低温となり、東北日本海側を中心に大雪となったところがあった。

平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で低い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で多い。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）